



【九州支部】

九州支部では6月2日（日）に福岡県にて役員会を開催し、九州各県支部長にご出席いただきました。

役員会では長崎県より、昨年度九州支部総会・講習会の報告がなされ、今年度担当県の大分県より、プログラム案が説明されました。事務局からは、平成30年度決算・令和元年度予算案についての説明を行い承認されました。

またその他に、今年度の九州プライマリ・ケア功労賞推薦について協議を行いました。推薦者については、今年度の総会・講習会時に表彰が行われる予定です。また、学生支援についての協議、各県の活動状況等の報告がなされ、会議を終了いたしました。



【福岡県】

活動報告 1

リハビリテーションの今とこれから

令和元年6月1日 エイムアテイン博多駅前会議室 5E 参加者：14名

藤田医科大学リハビリテーション医学I講座にてリハビリテーションロボットの開発・分析を行っている日本のトップランナーの平野哲先生にお越しいただきリハビリテーションロボットの現状とこれからの展望について話をさせていただきました。また、現場でセラピストとして在宅の現場で働いている松本大輔先生にもご協力いただき、「最先端から未来」の話と「今現場で起きていること」の2つのリハビリにフォーカスを当てた2本立てで講演をしていただきました。

リハビリテーションロボットの話は、平野先生が開発に関わっているウェルウォークをはじめ WPAL、そして Robotic Smart Home といった未来的な話を含め、現在のリハビリと将来のロボットや AI などがどのように融合していくのかということを感じさせる話であると同時に、今後のセラピストはどう関わっていくのか、どう変わっていくのかということを感じさせるメッセージも含まれておりました。実際に会場に来ていたセラピストからもその点に関する質問が多く出ていたのが印象的でした。

第2部では、現場で働くセラピストと多職種を含めた話し合いの中で、現場でリハビリ指示を出すために必要な「訪問看護指示書」に何を書くべきか、また現場のセラピストはどういう報告書を書くべきなのかという議論を1枚の訪問看護指示書・計画書・報告書をモデルにしてグループディスカッションをしていただきました。お互い、どんな情報が欲しいのか、今まできちんとコミュニケーションをとったことが少ないということがよく分かり、課題も見えてきました。

ジェネラルな視点で患者を診ることができるセラピストの育成が必要なが分かったことは収穫であり、我々がしないといけない役割ではないかと強く感じることができました。



【熊本県】

熊本県支部では4月から6月の間、JPCA 熊本支部自体の活動は行っておりませんが、本県総合診療研究会（熊総研）の世話人会を行いました。

協議の主な内容は下記のとおりです。

- ①JPCA の家庭医療専門医を受ける予定（県内2名、県外1名）に対してOSCE形式の学習会を6月22日（土）に予定していること
- ②参加5病院の専攻医に関する報告